

100歳おめでとうございます



よしすけ
福田 尚亮さん 大正 10 年 8 月 8 日生
やよい
福田 彌生さん 大正 10 年 9 月 13 日生
(福島・伊万里釜)

お二人は、昭和 23 年頃結婚。夫の尚亮さんは、旧福島町の助役を務めました。

尚亮さんは陶芸、妻の彌生さんは茶道の特技をお持ちです。



小峯 ヤエ子さん
大正 10 年 9 月 12 日生
(御厨・西木場)

御厨町西木場免で生まれ、25 歳で結婚。頑張り屋な性格で、農業をしながら、6 人の子どもを育てあげました。

スーツの生地を活用 KIREHASHI ビジネスコンテスト

長崎県立大学の企業サークル「FIRPEN^{ファープエン}」は 8 月 28 日、株式会社エミネントスラックスの協力のもと、「KIREHASHI ビジネスコンテスト 2021」を開催しました。(写真①)

同コンテストは、スーツを作る際に出る生地の切れ端を有効活用するため、高校生や大学生を対象にアイデアを募集。全 60 件の応募の中から最終審査に残った松浦高校や長崎大学、長崎県立大学の学生 7 人が、リモート形式で自身のアイデアについて発表を行いました。その後同社の高野圭右会長や、前田周二社長、長崎県立大学の久保文博講師、松浦高校の小野下和宏校長らが審査を行い、商品の新規性、販売価格などを評価し、高校生の部では松田彩那さん(松浦高校、写真②)が考案したタブレットケース「タブン まもるん」、学生の部では有吉亜樹人さん(長崎大学)と鈴木直緒さん(長崎県立大学)が共同で考案したアウトドアチェア「CR^{シーアール}」がそれぞれ最優秀賞に選ばれました。

9 月 8 日には、同サークル代表を務める最上弘登さん(長崎県立大学 4 年生)が市役所を訪問。(写真③) コンテストに出されたアイデアをもとに、同社が製作した試作品を報告しました。最上さんは「多くの方と関わり大変勉強になった。今後も市民皆さまの意見を取り入れながら商品化に向けて取り組みたい」と話しました。



まちの話題

パラリンピック採火式

東京2020パラリンピック採火式が8月16日、市役所で行われました。

松浦市の代表として野林弘鷹さん（御厨・上坊団地）が次女の桃香さん（介助者）とともに、障害のある人もない人も互いを認め合うことができる共生社会を次世代の子どもたちへ繋げていくことを願い、まいぎり式火起こしにより「松浦市の火」を採火しました。

県内21市町で採火された聖火は同日、県庁で集火され、同月20日に開催都市・東京都へ届けられました。



ブルーベリー畑を開放

須藤正文さん（志佐・西山）が、ほしか保育園、松浦幼稚園など市内の子どもたちに自身の畑を無償で開放しました。

たのしかこども園つきぐみの園児12人は9月1日、ブルーベリー畑を訪れ、収穫を体験しました。子どもたちは、畑内を走り回り「こっちに大きい実がある」「どっちが多く取れるか競争しよう」と、大はしゃぎ。

須藤さんは「コロナ禍でなかなか外出もできない。ブルーベリーの味や収穫の喜びを知り、楽しんでほしい」と話しました。



みんなで育てよう 人権の花

「人権の花運動」は、学校に配布された花の種子などを、児童がお互いに協力しながら育てることにより、優しさと思いやりの心を育み、命の大切さと人権尊重についての理解を深めることを目的に全国各地で実施されている人権啓発活動です。

本市では、平戸人権擁護委員協議会松浦市委員（奥野幸子副会長他6人）の協力のもと、法務省からの委託事業（地域人権啓発活動活性化事業）を活用し、毎年市内小学校2校の持ち回りで「人権の花運動」を実施しています。

今年度は、上志佐小学校と今福小学校で、「ひまわりの花」の栽培に取り組んでおり、両校の子どもたちと本市の人権擁護委員は、花の手入れや水やり、花壇の草取りなどを行いました。

「ひまわりの花」の栽培結果は、12月12日（日）に開催予定の「人権啓発上映会」において、会場施設内に掲示されます。



▲花壇の手入れの様子（今福小学校）



▲子どもたちと成長したひまわり（上志佐小学校）